

事務事業評価表 平成23年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 市街地整備の充実
 基本事業 人にやさしく、わかりやすい街並みづくり

事業名 **公共サイン設置工事**

[0321]

部名	建設部	事業開始年度	平成6年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	平成35年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 市民・道路利用者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) 設置駅を中心とした一定範囲にある公共施設へ案内するため、計画数46基の公共サインを設置する。また、災害時には緊急避難箇所への適切な誘導を行なう。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公共施設利用者が適切に誘導される。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市民	人	123,054	123,054	122,138	122,138
対象指標2						
活動指標1	公共サイン設置個所数	個所	1	1	1	1
活動指標2						
成果指標1	公共サイン設置進捗率(%)	%	61	63	65	67
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,312	1,848	1,575	2,048
正職員人件費 (B)		千円	836	830	1,209	1,222
総事業費 (A) + (B)		千円	2,148	2,678	2,784	3,270

費用内訳	
22年度	工事請負費 1,575千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

道路管理者が市であることから妥当。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

市外からの転居者や市外からの公共施設利用のための来訪者のための利便性を図る。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

公共サインの設置が毎年1ヶ所にとどまっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

毎年の設置ヶ所数を増やすこと。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っており、また、設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。